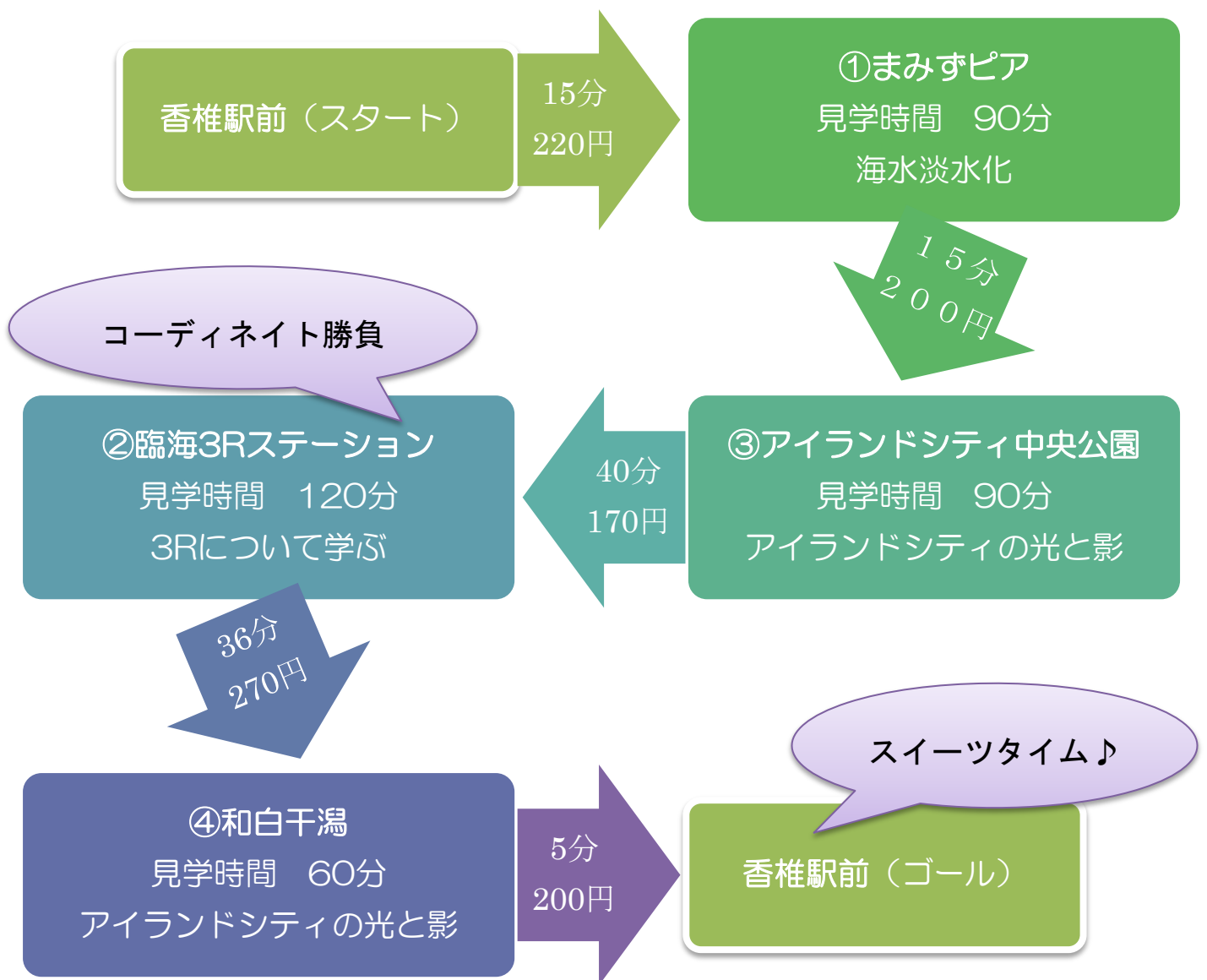


法学女子の エコ東区見聞録♪

西南学院大学 法学部 法律学科
中尾花蓮 大河内瞳 小林美穂

私たち法学部の女子三人組が行政の視点から福岡市東区の問題をみつめつつ、
ところどころに女の子らしさを入れた楽しい旅にします。



香椎駅 JR 香椎線 雁ノ巣駅下車/15分/220円→まみずピア→雁の巣駅前(バス)～アイランドシティ中央公園(照葉)
/15分/200円→アイランドシティ中央公園→香椎浜三丁目(バス) まで歩く/16分/1.3km～香椎浜三丁目(バス)～
高須磨団地(バス)/12分/170円～クリーンパーク・臨海運動広場 まで歩く/9分→臨海3Rステーション→貝塚駅ま
で歩く/16分/1.3km～和白駅/20分/270円→和白干潟→和白駅～香椎駅/5分/200円→香椎駅

①まみずピア～海水淡水化～

見学希望日の7日前までに申し込み必要
詳しくは福岡地区水道企業団 HP へ

福岡市の水事情

福岡都市圏には、人口の増加や都市化の進展、生活レベルの向上などの問題と併せ、地形的にも一級河川がないなどの理由により水資源に乏しい。福岡は、濁水によるダメージを受けてきた歴史がある。現在でも実は、日ごろ使っている水の3分の1が筑後川の水である。生活水の確保は、圏域共通の課題である。

まみずピアとは

安定給水の確保を目的とし、海水を真水に変える国内最大規模の施設である。

〈見学内容〉

- ・施設内を見学し、海水から真水になるまでの工程を学ぶ
- ・ビデオライブラリーや展示（てんじ）スペースで
分かりやすく楽しく水のことについて学べる
- ・水道水とまみずの飲み比べ（ききみず）

〈ねらい〉

水の重要性を理解し、節水を心がけるようになること（啓発）



飲む海水

1. 概要

福岡が誇る海水淡水化の技術により、海水を真水にした『「飲む海水」～玄界灘の水～』

2. 販売地

福岡市役所本庁舎1階ロビーのカフェで福岡が誇る海水淡水化の技術により、海水を真水にした『「飲む海水」～玄界灘の水～』を販売中。

3. 特徴

ピュアな水

- ・飲む海水は、海水淡水化施設で、3つの膜を通して塩分や不純物を取り除いたもの
- ・食品本来の味を活かし、だしの旨みや香りを引き出す。

(2)「飲む海水」を3本買うと苗木1本に！！

- ・販売収入の一部（ペットボトル1本あたり100円）を、森と水を守るための植樹の苗木代に活用。

福岡市交流推進事業

・ありがとう「水」ふれあい交流会

福岡都市圏の小学生が、福岡タワーやまみずピア、マリンワールド海の中道での交流会やクイズ大会、施設見学を通して水の大切さを学びながら交流を深めた。

・筑後川のめぐみ交流物産展

限られた資源である「水」の恩恵に感謝の気持ちを抱き、福岡都市圏の人々と水源・流域地域の方々との交流を推進することが目的。水源資源、流域の紹介、物産の販売などを行う。

休館日 月曜日・年末年始

開館時間 10:00~17:00

詳細については電話で問い合わせを

②臨海 3R ステーション~3R について学ぶ~

平成 13 年 3 月に「臨海リサイクルプラザ」としてオープンしました。平成 21 年にはプラザの愛称が、「臨海 3R ステーション」と改名された。発生する大量のゴミも工夫すれば立派な資源として再び利用することができる。3R を推進することを目標に掲げ、館内では様々な提案をしている。また衣類・雑貨・本・家具を市民から回収しリユース品として販売するスペースもある。また臨海工場では最新のごみ焼却処理施設を見学することができる。

3R とは

環境問題を語るうえで資源を再利用する「リサイクル」という言葉を使うことが多い。しかしリサイクルの前にゴミを減らす「リデュース」、使えるものを繰り返し使う「リユース」を心がけることが大切である。

3R (スリーアール) のすすめ

3Rとは? →

① Reduce (リデュース) → ごみを減らすこと
 ② Reuse (リユース) → 繰り返し使うこと
 ③ Recycle (リサイクル) → 資源として再利用すること

という言葉の頭文字の3つのRをとってつくられた言葉で、ごみ減量やエネルギー節約のキーワードです。

まずは、リデュース! → Reduce → そして、リユース! → Reuse → 三番目が、リサイクル! → Recycle

まずは、「ごみを減らす」ことから!

- 衝動買いをしない。
- 食料品の買いすぎに注意する。
- 過剰包装は断る。
- 食事の作りすぎ、食べ残しをしない。
- 壊れても修理して、最後まで大切に使う。
- マイバッグを持参し、レジ袋はもらわない。

使えるものは何でも繰り返し使おう!

- 詰め替え用製品を購入し、ボトルなどはくり返し使う。
- メモ用紙は、裏紙を利用する。
- フリーマーケットやリサイクルショップを活用し、必要な人に使ってもらう。
- 古くなった洋服や家具などもリフォームやリメイクで再利用する。

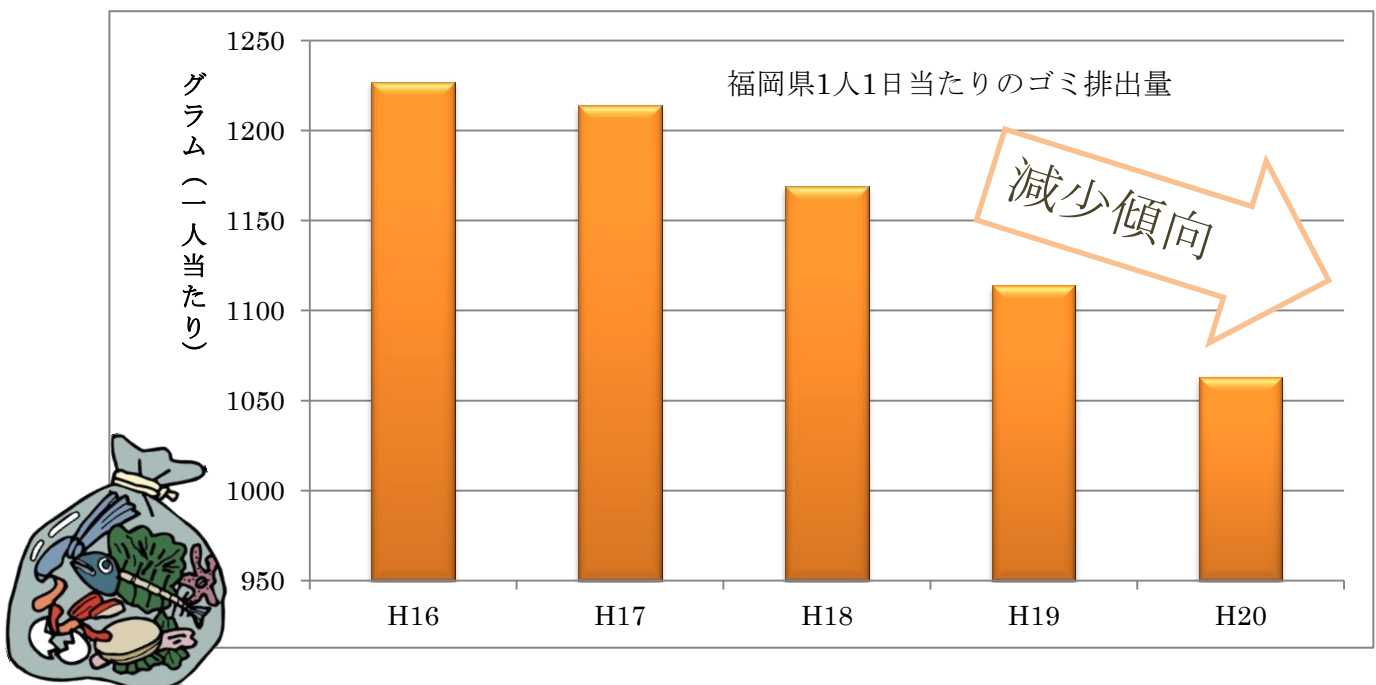
資源として再利用し、リサイクルの輪を広げよう!

- 古紙は、集団回収や紙リサイクルボックスなどに、食品トレイは店頭回収に出す。
- 生ごみは堆肥にして利用する。
- 再生品の購入を心がける。

福岡のゴミ事情

ちなみに環境省「一般廃棄物処理実態調査結果」(H20)によると福岡県の1人1日当たりのゴミ排出量は1,057gで全国11位。全国平均の1,033gを上回っており、福岡はゴミの排出量が多い方の地域である。

しかし、行政の3Rの啓蒙活動の現れか、福岡県環境部廃棄物対策課資料によると福岡県の1人1日当たりのゴミ排出量 (g/人日)は減少傾向にある。(下記グラフ参照)



③アイランドシティ～アイランドシティの光と影～

<概要>

総事業費 3940 億円

「まちづくりエリア」・・・住宅地と産業用地および公園

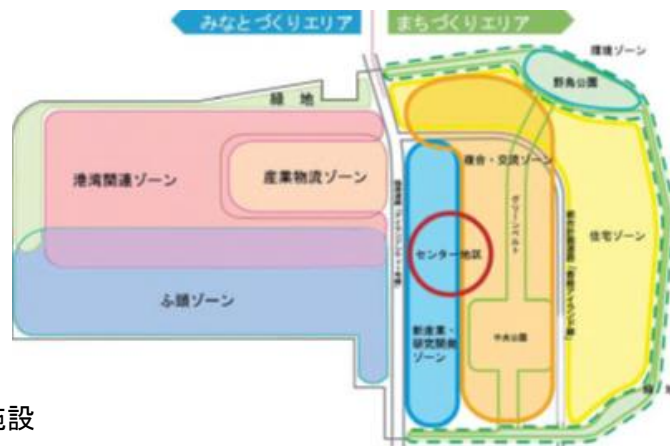
「みなとづくりエリア」・・・埠頭用地と港湾関連用地

<アイランドシティ中央公園>

面積 153,000 m² (ヤフオク! ドーム約4個分)

施設

- (1) ぐりんぐりん・・・花と緑をテーマとする学習体験施設
- (2) 国際交流庭園・・・福岡市の6つの姉妹都市から出展された庭園



⇒ 緑や水辺、生物などの豊かな自然と共生し、
人と地球にやさしい持続可能な街にある公園をコンセプトに作られている

④和白干潟

<概要>

位置 福岡県博多湾の東奥部

面積 約80ha

2003年国指定の鳥獣保護区に指定

大陸から朝鮮半島、九州を経由する渡り鳥のルートと

日本列島を南北に經由する渡り鳥のルートが交差する位置にあるため

渡来する渡り鳥の種類数は日本有数

⇒国際的にも渡り鳥の中継地として重要視されている



(写真) クロツラヘラサギ

(渡り鳥の例)

絶滅危惧種のツクシガモ、クロツラヘラサギ、ズグロカモメ

人工島問題

アイランドシティ
建設

海面の消失
海水交換の阻害など

アオサの異常発生
干潟のヘドロ化
渡り鳥の減少

人工島(アイランドシティ)が和白干潟の前の海をふさぐことになるので干潟付近の海水の入れ替わりが悪くなり、干潟の水や砂が汚くなる。人と自然の共生を謳うアイランドシティと渡り鳥が寄り付かなくなる和白干潟。この両者を比べることで福岡市の環境政策の光と影を垣間見ることができる。